

## ○市町村老人クラブ連合会役員等研修会

(令和2年1月8日(水) ザ・グランドパレス(徳島市))

去る1月8日、徳島市のザ・グランドパレスにおいて「市町村老人クラブ連合会役員等研修会」を行い、各市町村老連の役員等、71名にご参加いただきました。



細井県老連会長からの挨拶に続き、ご臨席いただいた飯泉徳島県知事からは日頃の活動に対するお礼と、地域での活躍に対する励ましのメッセージをいただきました。

研修会のテーマは「会員増強」。はじめに基調報告として、平成26年度から5ヵ年にわたって取り組んだ「老人クラブ会員増強運動」についての数値実績、市町村老人クラブ連合会に行った運動に関するアンケート調査の結果などを報告、最終的には減少となったが、減少幅は少なくなったことや一部の一定の成果をあげたクラブや市町村老連もあったこと、またアンケートでは、会員増強に最も効果があると思われる取組として、市町村老連では「未加入者も参加できる事業や行事の実施」、単位クラブでは「知人・友人への声かけ」が最も多かったとの報告がされました。

その後、今回の運動で成果をあげた3クラブの事例発表を行いました。それぞれの成功事例に対しては、参加者の関心も高く、質疑が数多く出されるなど、有意義な研修会となりました。発表の要点は下記のとおり。

- ①石井町石井藤クラブ(5年間で会員倍増) 発表者: 会長 谷脇孝子  
(要点)戸別訪問による勧誘が最も効果的で、「いきいきクラブ体操」をきっかけとして入会する方も多く見られました。
- ②美馬市別所上老人クラブ(他団体と連携した取組) 発表者: 会長 多田政也  
(要点)老人クラブと自治会、婦人会等5つの団体が協力、各代表者が一緒に対象者宅を訪問して勧誘を行いました。
- ③鳴門市段関シルバークラブ(クラブを新設) 発表者: 会長 辻加米一  
(要点)クラブの新設にあたり、目標を明確にすることが大切、現在は県内の企業見学や他クラブとの交流などを中心として活動しています。